

## 同意書 兼 確認書

**適応基準** 1. 患者・家族共に在宅療養を希望している 2. 地域連携パスを用いた診療に同意している

目標	<input type="checkbox"/> ご本人やご家族の状況に応じた、サービスが整い、安心して在宅療養に移行できる
	<input type="checkbox"/> 患者と家族が安心して在宅で過ごすことができる

	✓ ご本人、ご家族が行うこと	✓ 医療者が行うこと
説明について	これからの治療方針について医師より説明を受けます	患者さん・ご家族に在宅療養のメリット、デメリットについて説明する
	気がかりなことを看護師や医師に聞いて確認しましょう	医師が現在の状態、今後起こりうる症状・対応方法について説明する
	病気や治療のことで説明を受ける時にはご家族も一緒に聞きましょう	医師からの説明について、分からないことや気がかりはないか、看護師が確認する
	治療についての希望があれば医師や看護師に遠慮なく伝えましょう	在宅における費用について医療ソーシャルワーカーより説明する
退院について	在宅医や訪問看護ステーションについて看護師や医師、退院調整担当者等から情報を集めましょう	療養についての希望や気がかりについて、病院の医師や看護師、方針を確認する
	在宅医や訪問看護ステーションと合同カンファレンスする時には、ご本人やご家族が「どんな生活を送りたいか」「どんなことが不安か」を伝えましょう	退院までに、合同カンファレンスを行うため日程を調整する（合同カンファレンス内容は別紙参照）
	合同カンファレンスの内容を確認しましょう（合同カンファレンス内容は別紙参照）	症状悪化時、緊急時の対応についての方針を明確にする
	緊急時の連絡先・連絡方法を確認しておきましょう	緊急時、必ず連絡がつくように確認する（ファーストコール、セカンドコール）
病気や症状について	痛みがある場合は、定期的に使う薬や痛みが強い時の対処方法について、確認しておきましょう	在宅でコントロール可能な、痛みやつらいと感じる症状を和らげるための医療・ケアを行う
	つらい症状、気になる症状があれば、どのような症状でも看護師や医師にすぐに伝えましょう	患者さん、ご家族に医療処置やケアの内容を具体的に説明し、理解してもらおう（薬剤・診材物品など事前に確認を行う）
	今後、起こりうる症状と対処について聞いておきましょう	できるだけ薬は内服（必要時1包化）、坐薬、貼付剤にする。
	自宅で行う処置や対処方法などについて聞いておきましょう	薬の内容、服用方法などについて薬剤師が説明する
在宅医療に係るスタッフ	在宅医： 訪問看護： ケアマネ： かかりつけ薬局： 介護認定：	

上記内容の説明を受け、理解しましたので、同意します。

患者氏名(サイン)

説明医師